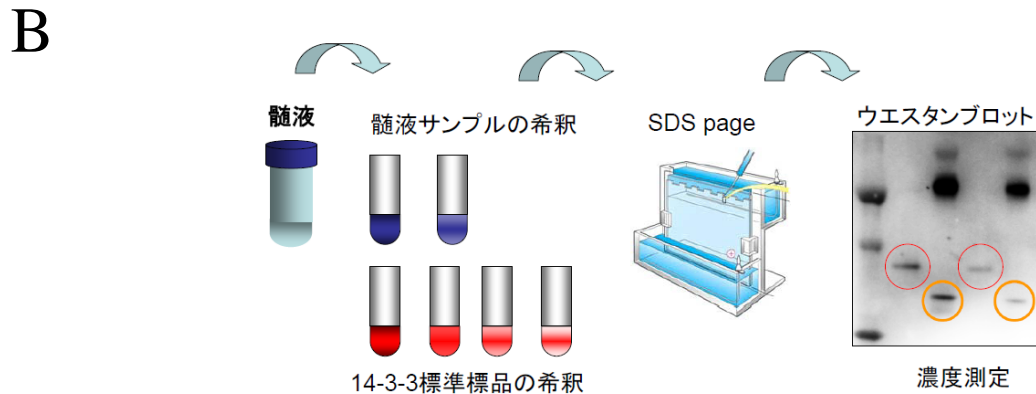
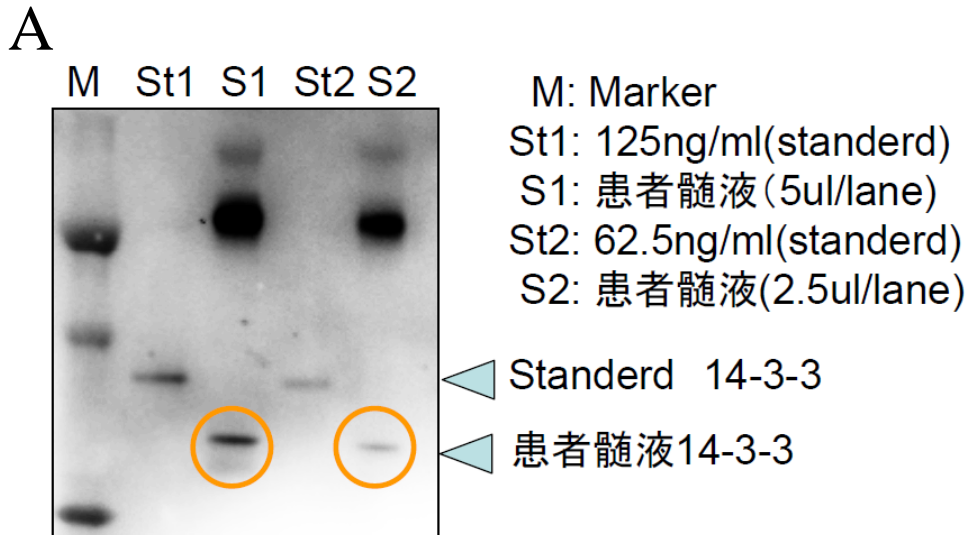


髄液中14-3-3タンパク質濃度

研究協力者： 国立感染症研究所 佐多 徹太郎



解説

A: 依頼検体の測定。標準標品との比較から、患者髄液中には120ng/ml以上の14-3-3タンパク質が含まれることが分かった。これまでの検討から正常人の上限は25ng/mlであることが分かっている。

B: 診療機関からの髄液の送付から解析までのシエマ。送付された髄液および標準標品を希釈しSDS-Page、ウエスタンブロット解析を行い、得られたバンドの濃度を測定することで、髄液中の14-3-3タンパク質濃度を測定する。